

事業名	令和2年度課題解決実証事業（奥能登チャレンジインターンシップ） 「高齢者外出支援プロジェクト」	
実施主体	輪島市	
活動形態	活動場所	オンライン活動
	活動人数	金沢大学2名、金沢学院大学1名、北陸大学1名 計4名
	期間	令和2年9月～12月
活動内容	<p><背景・課題></p> <p>少子高齢化が進む輪島市において、高齢者の移動手段の確保が課題となっている。地域住民による乗り合いバスなどを運航している地区もあるが、今後の若者減少により、運転手となる担い手の確保や、運営費の確保などに課題があるため、過疎地における外出支援の在り方を検討する必要がある。</p> <p><活動概要></p> <p>学生は、輪島市の現状把握として、高齢者の外出支援において先進的な地区である浦上地区への聴き取りを実施。同地区のほか、市職員や社会福祉協議会当へのヒアリングを実施。</p> <p>学生はヒアリングをもとに、発表用資料を作成し、12/18に成果発表会にて市幹部、浦上地区長等を前にデマンド型コミュニティバス等の提案を行った。</p> <p><参加学生の声></p> <p>「輪島市の現状や高齢者の移動支援について深く考えたことは無かった。今回の活動を通じて成長できたことを今後に活かしていきたい。」</p>	

事業名	令和2年度課題解決実証事業（奥能登チャレンジインターンシップ） 「珠洲おしごとライター」	
実施主体	珠洲市	
活動形態	活動場所	珠洲市、金沢市
	活動人数	金沢大学2名、金沢星稜大学1名 計3名
	期間	令和2年9月～令和3年2月
活動内容	<p><背景・課題></p> <p>珠洲市内の企業における就職者数の増加に向けて、珠洲ではたらくことを魅力に感じる20代を増やすため、学生がライターとして珠洲市の企業を取材し、企業紹介記事をWeb上で発信する。</p> <p><活動概要></p> <p>9月にライティングの心構え等をプロから学ぶ講座を受講し、珠洲市内の企業6社（宗玄酒造、典座、浦野農園、松田牧場、小泊十六号定置網、能登森林組合珠洲支所）にインタビューを行い、学生一人2本の取材記事を作成した。作成した記事6本は、珠洲市運営のWebメディア「ずっとずっと」に掲載した。</p> <p><参加学生や関係者の声></p> <p>「実際に働く方の話を聞き、その分野に興味を持ちました。楽しみながらできました。」（学生）</p> <p>「求人を出してもなかなか応募がなかったので、紹介してもらえてよかった。」（取材先）</p>	

事業名	令和2年度課題解決実証事業（奥能登チャレンジインターンシップ） 「穴水ランチマップの作成」	
実施主体	穴水町	
活動形態	活動場所	穴水町
	活動人数	金沢大学3名
	期間	令和2年9月～12月
活動内容	<p><背景・課題></p> <p>穴水町を訪れる観光客の利便性を高めるため、穴水町の職員や飲食店の店長などの話を聞きながら、穴水町の飲食店を学生目線でまとめたランチマップの作成に取り組んだ。</p> <p><活動概要></p> <p>学生は、ランチマップのレイアウトを作成後、11月に同町を訪れ3軒の飲食店にインタビューを行った。インタビューを行った3軒を含め、計22軒の飲食店情報を掲載した観光客向けのランチマップを作成し、町職員に提案を行った。提案されたマップはヒアリングした店主の人柄が記載されており、学生の個性が出ていた。</p> <p>同町では、学生が提案を基にランチマップを作成し、観光客等に向けて配布を行った。</p> <p><学生の声></p> <p>「穴水の海の近さは魅力の1つ。人とのつながりを大切にしていると感じた。」</p> <p>「店主に直接インタビューできたのは3店舗のみで、他の店舗の内容が少し薄くなってしまったが、どういう店主が切り盛りしているのかわかるように店主の顔写真を載せるなど、工夫して取り組むことができた。」</p>	

事業名	令和2年度課題解決実証事業（奥能登チャレンジインターンシップ） 「中学生と能登町の未来をデザインする」	
実施主体	能登町	
活動形態	活動場所	能登町（オンライン活動）
	活動人数	金沢大学1名、北陸大学3名 計4名
	期間	令和2年9月～令和3年2月
活動内容	<p><背景・課題></p> <p>人口減少が進む能登町で、若者のUIターンの促進が課題となっている。町は2030年に若者が集まる能登町になることを目標に掲げる。そこで、能登町創生総合戦略の一環として、中学生が能登を知り、考えることで将来の能登の可能性を見つけるためのキャリア教育の企画・運営に取り組んだ。</p> <p><活動概要></p> <p>学生は、オンラインでの授業参加でも齟齬が起きないように、事前に中学校の校長や担当教員と打ち合わせを行った後、授業にオンライン参加した。</p> <p>中学生の授業に学生がアドバイス等を行い、中学生の発表会の準備等を行った。</p> <p><参加学生の声></p> <p>「発表会が成功し、達成感に溢れている。中学生のアイデアは、自分では思い付かないものであり、自分自身の勉強にもなった。」</p>	

事業名	令和2年度課題解決実証事業（奥能登チャレンジインターンシップ） 「食べ歩きフードPRプロジェクト」	
実施主体	珠洲商工会議所	
活動形態	活動場所	珠洲市、金沢市
	活動人数	金沢大学2名、金沢星稜大学1名 計3名
	期間	令和2年9月～令和3年1月
活動内容	<p><背景・課題></p> <p>珠洲市内の飲食店の情報発信のため、同市内の事業者が地域の食材等を活かして開発した食べ歩きフード（ワンハンドフード）を試食してPR記事を作成するとともに、効果的な情報発信について企画・提案に取り組んだ。</p> <p><活動概要></p> <p>学生は、食べ歩き用の商品（試作品）を試食し、事前調査や準備を行った後、店舗への取材を行い、PR記事を作成した（取材先：①典座、②（同）KANEMORI、③株式会社いづみや、④NPO法人能登すずなり、⑤（有）メルヘン日進堂、⑥（有）レストラン浜中）</p> <p><参加学生の声></p> <p>「取材に対して苦手意識を持っていて、思うようにいかなかった点もあったが聞きたいことを聞き出すヒントは少しつかめたように感じる。」</p>	